

システム作業台

取扱説明書



- このたびは、製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

INDEX

安全上のご注意	1
お使いになる前に	1
各部の名前	2
構成パーツと標準付属品	2
下部（作業台部分）の組み立てかた	3～4
上部（上部棚部分）の組み立てかた	5～6
耐荷重について	7

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い
いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に
防止するためのものです。また、注意事項は、危害や
損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った
取り扱いをすると生じることが想定される内容を、
「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全
に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷
を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、
物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを 告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な注意)が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるもので す。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合 は一般的な禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容 を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内 容(左図の場合は一般的な指示)が描かれています。

警告	
	●製品の上に乗らないこと ケガの原因になります。
上乗り禁止	



注意	
	●上部棚に物を載せたまま移動させ ないこと 製品の転倒や積載物落下によるケガの 原因になります。
	●天板や棚に物を載せ過ぎないこと 耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損 や積載物落下によるケガの原因になりま す。(7ページの「耐荷重について」参照)

注意	
	●不当な改造をしないこと 不当な改造や指定以外の部品使用は製品 破損等によるケガの原因になります。
	●高温、低温になる物のそばに設置 しないこと やけどや凍傷、樹脂部品の変形・損傷の 原因になります。
	●キャスター付の製品は、使用時に 全てのストッパーをONにすること ストッパーがはずれていると、製品の転 倒や積載物落下などの原因になります。
	●設置工事はお買い上げ店または 専門業者に依頼すること ご自分で設置工事をされ不備があると製 品の転倒や落下などの原因になります。
	●組立、設置、清掃の時には必ず 軍手を着用すること 素手で作業をすると、ケガの原因になり ます。
	●設置面が丈夫で平らな所に、棚面 が水平になるように設置すること 傾いていると積載物が落下して、ケガの 原因になります。

お使いになる前に

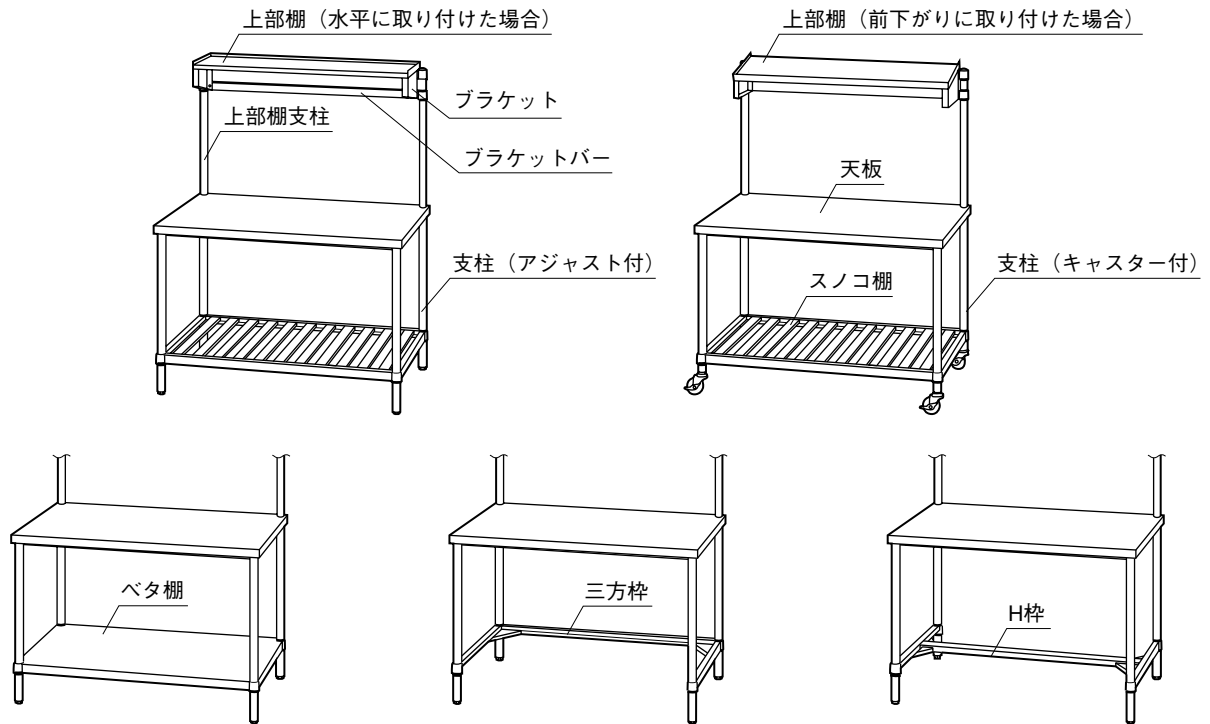
確認・点検

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様など
がご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないか
ご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したり
しないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてく
ださい。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにして
ください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 保護フィルムは長期間たつとはがれにくくなりますの
で、必ずはがしてお使いください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置すると
サビの原因になります。

各部の名前



構成パーツと標準付属品

型 式	上部 (上部棚部分)							下部 (作業台部分)						
	上部棚	上部棚支柱	ブラケット	ブラケットバー	ストッパー	ゆるみ止めビス	ボルト・平ワッシャ・ナット	天板	棚または枠	支柱	ストッパー	ゆるみ止めビス		
SUS430	アジャスト付	SAS型	1組	2本	1組 (2枚)	2本	4個	4本	8組	1組	1枚 (スノコ棚)	4本 (アジャスト付)	4個	4本
		SAB型									1枚 (ベタ棚)			
		SAT型									1組 (三方枠)			
		SAH型									1組 (H枠)			
	キャスター付	SASC型	1組	2本	1組 (2枚)	2本	4個	4本	8組	1組	1枚 (スノコ棚)	4本 (キャスター付)	4個	4本
		SABC型									1枚 (ベタ棚)			
		SATC型									1組 (三方枠)			
		SAHC型									1組 (H枠)			
SUS304	アジャスト付	SASN型	1組	2本	1組 (2枚)	2本	4個	4本	8組	1組	1枚 (スノコ棚)	4本 (アジャスト付)	4個	4本
		SABN型									1枚 (ベタ棚)			
		SATN型									1組 (三方枠)			
		SAHN型									1組 (H枠)			
<p>ストッパー、ゆるみ止めビス、ボルト・平ワッシャ・ナットのついたケースが上部棚のケースと同梱されています。</p> <p>ストッパー ゆるみ止めビス ボルト・平ワッシャ・ナット</p>							<p>ストッパーとゆるみ止めビスの入ったケースが棚 (枠) のケースと同梱されています。</p> <p>ストッパー ゆるみ止めビス</p>							

下部（作業台部分）の組み立てかた

お願い

- 組立作業はできるだけ広くて、平坦な場所で行ってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。
- 各部の保護フィルムは、必ずはがしてお使いください。

※上部（上部棚部分）の組み立てかたにつきましては、5～6ページの「上部（上部棚部分）の組み立てかた」をご参照ください。

※説明図はSAB型を使用しています。他の機種も同様の手順で組み立てることができます。

1 構成パーツと標準付属品を確認します。

構成パーツと標準付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【標準仕様の構成パーツ】

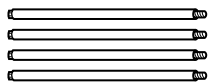
詳しくは2ページの「構成パーツと標準付属品」をご参照ください。



天板×1組



棚×1枚
(または枠×1組)



支柱×4本
(アジャスト付又はキャスター付)

※ストッパーとゆるみ止めビスは棚（枠）のケースから取り出して、数を確認しておいてください。



ストッパー×4個



ゆるみ止めビス×4本

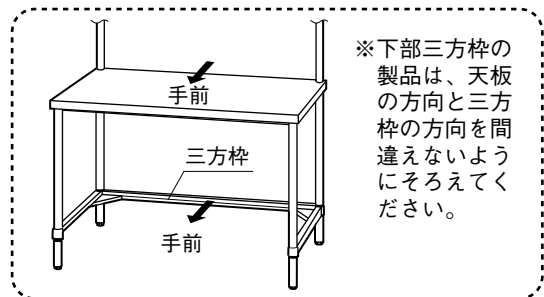
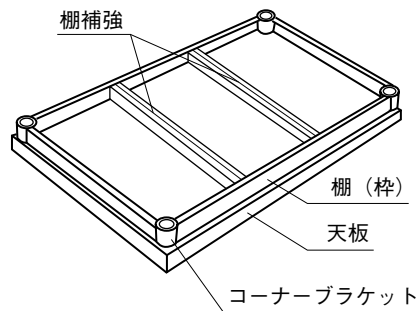
2 天板と棚（枠）をかさねます。

天板を裏返して床に置き、その上に、裏向きにした棚（枠）をかさねてください。

※コーナーブラケットの穴が、天板のネジ穴とぴったり合うようにかさねてください。

※追加棚がある場合は、天板と下段の棚の間に入れてください。

※棚の表裏と順番を間違えないようにしてください。



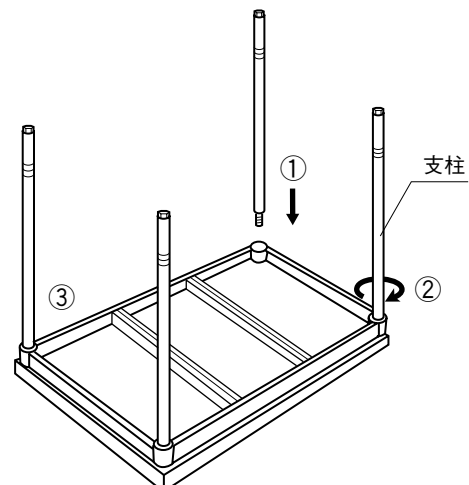
3 支柱を取り付けます。

コーナーブラケットの穴を通して、支柱を天板のネジ穴にねじ込んでください。

※① 支柱は垂直にねじ込み、② 必ずネジ山の最後までしっかりとねじ込んでください。

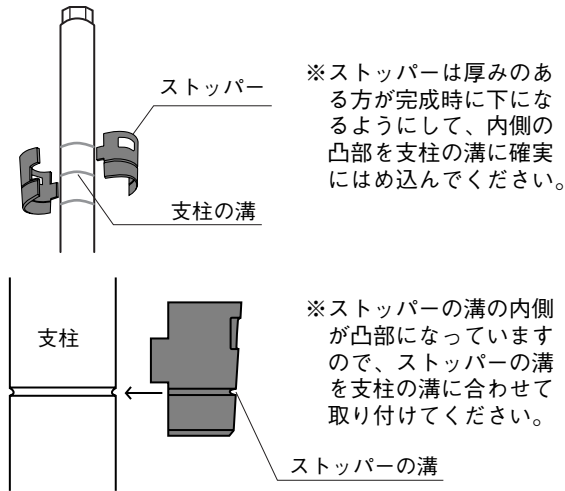
※③ 4本ともねじ込んだらもう一度、1本ずつ締め具合を確認してください。

※支柱のネジ部分を傷つけないようにしてください。



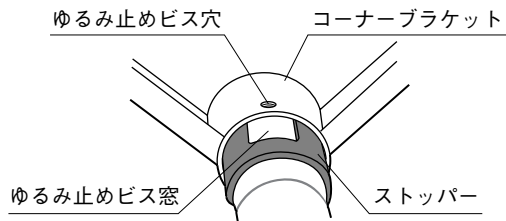
4 ストッパーを取り付けます。

各支柱の同じ高さの溝にストッパーを取り付けてください。



※完成時の棚（枠）の上面は溝より約10mm上の位置になります。

※ストッパーのゆるみ止めビス窓をコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。（導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。）



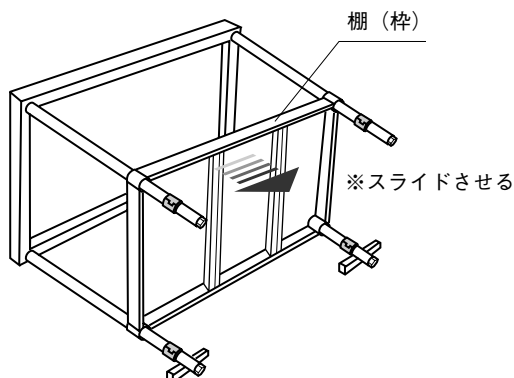
5 棚（枠）を取り付けます。

作業台を寝かせて、4.で取り付けたストッパーの位置まで棚（枠）をスライドさせてください。

※棚（枠）が動かなくなるまでコーナーブラケット部分をしっかりとストッパーにかぶせてください。

※この時、床側の支柱の下に3cm程度の厚みの物を敷いておくと組み立てがスムーズに行えます。

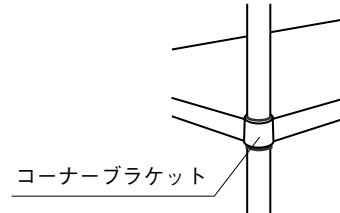
※追加棚がある場合は下段の棚を取り付けた後、4.~5.の手順で下段から順に取り付けてください。



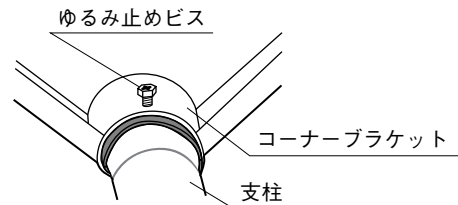
6 棚（枠）を固定します。

作業台を起こして、コーナーブラケット部分を上から数回たたいて固定してください。追加棚がある場合も同じ要領で固定してください。

※必要以上に強くたたかないでください。また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。



※ゆるみ止めビスは、先端が支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。



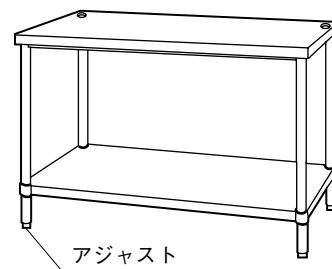
7 各部を点検します。

上部（上部棚部分）を取り付ける前に、各部の状態を点検してください。

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※支柱は垂直に、天板と棚（枠）は水平に取り付けられているようにしてください。

※作業台全体の水平はアジャストで約30mmの調整が可能です。



上部（上部棚部分）の組み立てかた

お願い

- 組立作業はできるだけ広くて、平坦な場所で行ってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。
- 各部の保護フィルムは、必ずはがしてお使いください。

※下部（作業台部分）の組み立てかたにつきましては、3~4ページの「下部（作業台部分）の組み立てかた」をご参照ください。

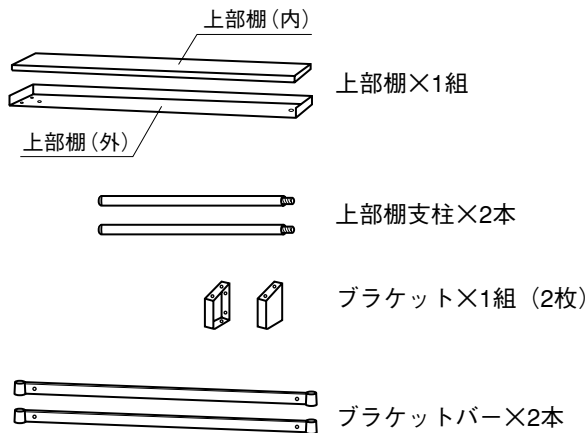
※説明図はSAB型を使用しています。他の機種も同様の手順で組み立てることができます。

1 構成パーツと標準付属品を確認します。

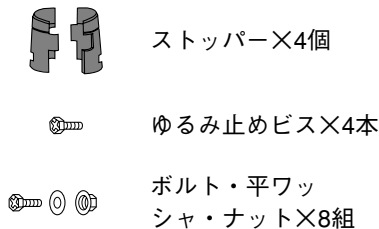
構成パーツと標準付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【標準仕様の構成パーツ】

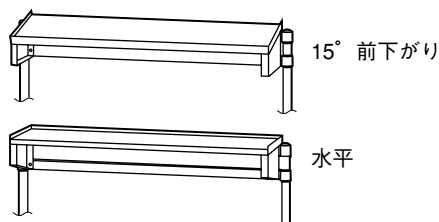
詳しくは2ページの「構成パーツと標準付属品」をご参照ください。



※ストッパー、ゆるみ止めビス、ボルト・ナットは上部棚のケースから取り出して、数を確認しておいてください。



※左右のブラケットを入れ替えることで、上部棚の取付角度を「15° 前下がり」または「水平」にできます。



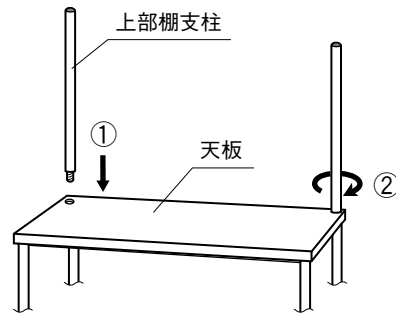
2 天板に上部棚支柱を取り付けます

上部棚支柱を天板表面のネジ穴にねじ込んでください。

※①支柱は垂直にねじ込み、②必ずネジ山の最後までしっかりとねじ込んでください。

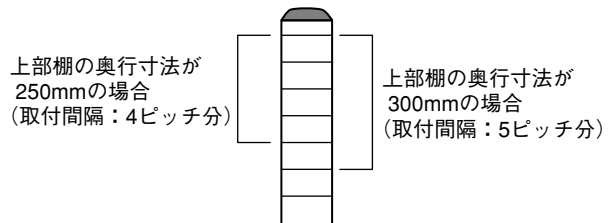
※2本ともねじ込んだらもう一度、1本ずつ締め具合を確認してください。

※上部棚支柱のネジ部分を傷つけないようにしてください。

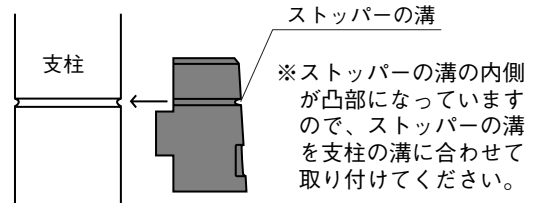


3 下方のブラケットバーの取付位置に、ストッパーを取り付けます。

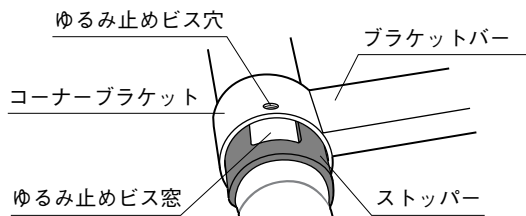
上部棚の奥行寸法（250mm・300mm）によって、ブラケットバーの取付間隔が異なります。上部棚の奥行寸法と取付位置を確認して、下方のストッパーを取り付けてください。



※ストッパーは厚みのある方が完成時に下になるようにして、内側の凸部を支柱の溝に確実にめ込んでください。



※ストッパーのゆるみ止めビス窓をコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。（導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。）

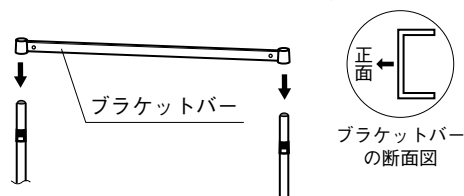


4 下方のブラケットバーを取り付けます。

上部棚支柱にブラケットバーを差し込み、コーナーブラケット部分をしっかりとストッパーにかぶせてください。さらに、コーナーブラケット部分を上から数回たたいて固定してください。

※ブラケットバーは平面側が正面、凹面側が背面になるように取り付けてください。

※必要以上に強くたたかないでください。また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。

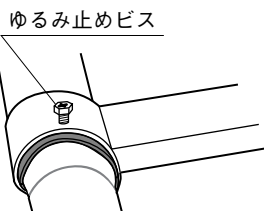


5 上方のブラケットバーを取り付けます。

3~4と同手順で、上方のブラケットバーを取り付けてください。

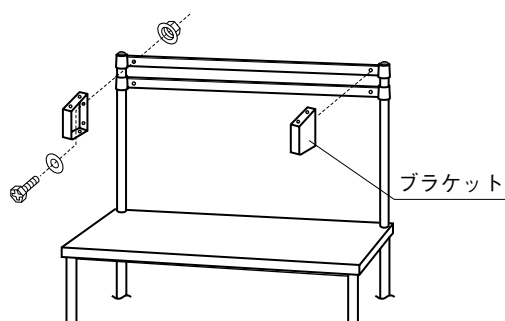


※ゆるみ止めビスは、先端が上部棚支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。

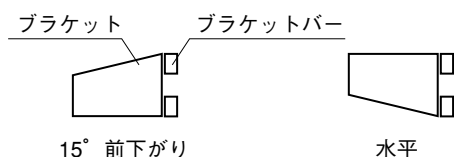


6 ブラケットを取り付けます。

ボルト・ナットでブラケットをブラケットバーに取り付けてください。(各ブラケット2ヶ所ずつ固定)

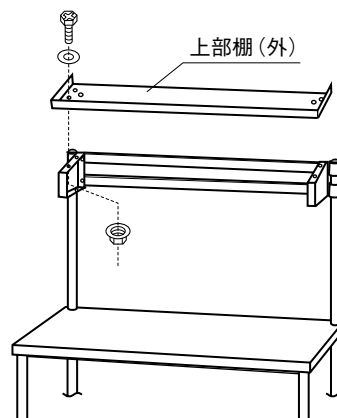


※ブラケットは垂直に、また左右同じ高さに、正確に取り付けてください。(ブラケットの上端とブラケットバーの上端をそろえるようにしてください)



7 上部棚(外)を取り付けます。

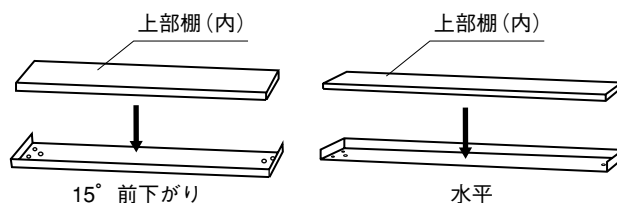
ボルト・ナットで上部棚(外)をブラケットに取り付けてください。(左右各2ヶ所ずつ固定)



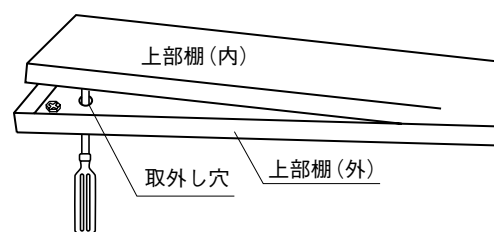
※上図は15°前下がりの場合です。水平取付の場合は、立ち上がりのある側を背面にして上部棚(外)を取り付けてください。

8 上部棚(内)を取り付けます。

上部棚(内)を、上部棚(外)の内側にはめ込んでください。



※上部棚(内)を取り外す時は、上部棚(外)の取外し穴にドライバー等を差し込んで、上部棚(内)を押し上げてください。



9 設置前に各部を点検します。

最後に、完成品の各部の状態を点検してください。

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※支柱は垂直に、天板は水平に取り付けられているようにしてください。

※作業台全体の水平はアジャストで約30mmの調整が可能です。

※保護フィルムをはがしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

耐荷重について

⚠ 注意



過積載禁止

●天板や棚に物を載せ過ぎないこと
耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。



移動禁止

●上部棚に物を載せたまま移動させないこと
製品の転倒や積載物落下によるケガの原因になります。

※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含まれます。

※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。

※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。

※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

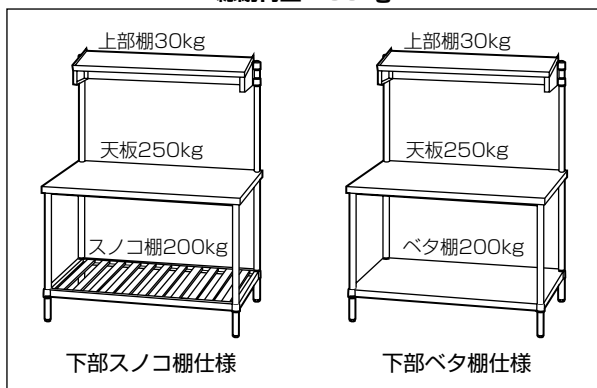
●太文字の数値は総耐荷重（製品全体の荷重量の上限）を示します。

●細文字の数値は部分耐荷重（特定部分の荷重量の上限）を示します。

●部分耐荷重は“荷重量の合計が総耐荷重を超えない”事が条件です。

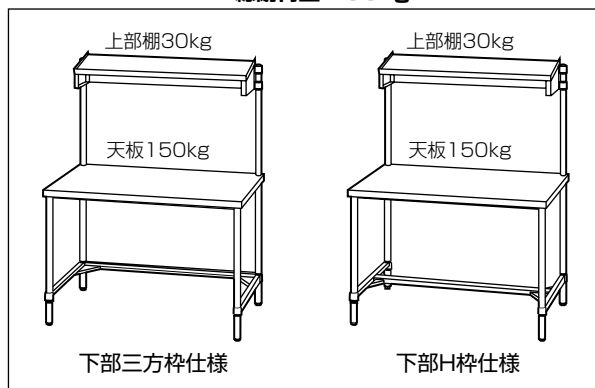
アジャスト付

総耐荷重 400kg



- 総耐荷重は400kgです。
- 上部棚の部分耐荷重は30kgです。
- 天板の部分耐荷重は250kgです。
- 下部の棚1枚あたりの部分耐荷重は200kgです。

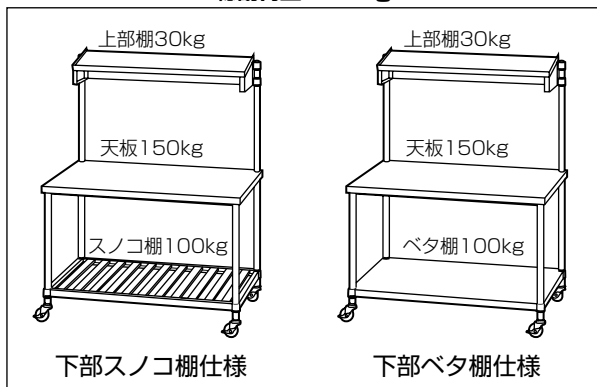
総耐荷重 150kg



- 総耐荷重は150kgです。
- 上部棚の部分耐荷重は30kgです。
- 天板の部分耐荷重は150kgです。

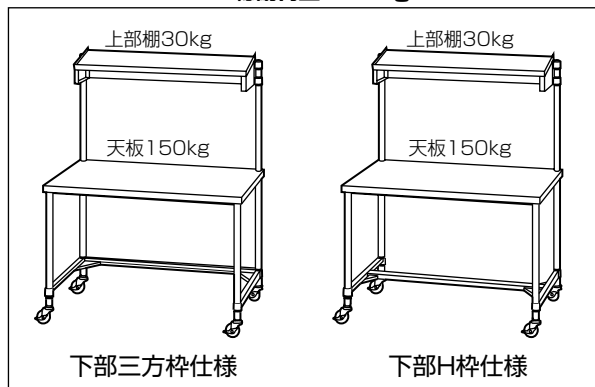
キャスター付

総耐荷重 200kg



- 75φのキャスター（標準仕様）を装着した場合、総耐荷重は200kgを目安としてください。
- 100φのキャスター（オプション）を装着した場合、総耐荷重は300kgを目安としてください。
(使用条件により異なりますので、ご相談ください。)

総耐荷重 150kg



- 75φのキャスター（標準仕様）を装着した場合、総耐荷重は150kgを目安としてください。
- 100φのキャスター（オプション）を装着した場合、総耐荷重は150kgを目安としてください。
(使用条件により異なりますので、ご相談ください。)